

Project No.20201035

第 118 回 銀行業務研修・基礎コース

第 11 回 融資システムコース

(関係部門へご回覧下さい)

「融資システムの概要と最新のシステム動向」

新型コロナウイルス感染症への対応で、金融機関を取り巻く環境は大きく変化しました。コロナ対応融資に追われる一方、今後の融資姿勢をどうするか。そのためシステム構築をどのようにしていくかが、大きな位置づけを占めるようになりました。

本コースでは、デジタル技術を活用した融資システムの最新事例を見据えつつ、システムの概要と構築に必要な基礎を学習します。同時に、オープン系システムやクラウドサービスへの対応、そしてオンラインレンディングを学ぶことで融資システムを網羅的かつ体系的に理解します。

★オンライン同時配信

開催日：2021年3月4日（木）・5日（金） 1. 5日間

会場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：

株式会社 ebs エグゼクティブフェロー

一般社団法人 日本ITイノベーション研究所 副理事長

清水 亨 氏

主催：日本金融通信社

<https://bunkup.nikken.co.jp/>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援 一般社団法人全国地方銀行協会

一般社団法人第二地方銀行協会

一般社団法人全国信用金庫協会

一般社団法人全国信用組合中央協会

☆研修のねらい

金融機関にとって、“基本的な”業務でありながら、その管理手法が変容しつつある融資業務システム。その全体像・特色を幅広い視野点から解説し、求められるあるべき姿を視野に入れながら、システム面と業務面から「融資システム」について、網羅的かつ体系的に理解を深めて、解決すべき課題を整理しながら方向性について考えていきます。

☆研修のテーマ

- ・銀行システムの概要を俯瞰し、融資システムの位置付けについて解説します。
- ・勘定系システムの役割・機能を整理し、システムで管理する項目、商品を構成するパラメータ、審査から完済までのライフサイクルにおけるポイントについて解説します。更に一步踏み込み、貸出金利決定メカニズムについて、信用リスクおよび管理会計の観点から説明します。
- ・コーポレートファイナンスビジネスについて、従来の法人融資のほか、多様化する企業の資金調達方法の概要、仕組みを分かりやすく解説します。
- ・融資周辺システムの役割および勘定系システムとの関係について解説します。特に内部格付制度、自己査定システムについては、個別与信管理の観点から具体例を挙げて説明します。
- ・複雑な「証券化」の仕組みや商品性を具体例を交えてわかりやすく解説します。また証券化にはどのようなシステム対応が必要かについて説明します。
- ・オンラインレンディングの最新動向や仕組み、システム構成例について解説します。
- ・融資を含む勘定系システムの今後の方向性（オープン系システム、クラウド化等）について解説します。

☆研修の対象

金融機関での融資経験がなくシステム部やシステム関連会社の担当となった方、金融機関を対象にするメーカー・ベンダー社員（特に、新たに融資業務系システムの企画・開発・運用担当になった方）、金融機関を営業対象とする企業の担当営業社員・SEの方、「銀行業務研修・基礎コース」を修了された方。

☆開催要綱

日 程： 2021年3月4日（木）5日（金） 1. 5日間

時 間： 1日目 13：30～16：30（13：00受付開始）

2日目 10：00～16：00（9：30受付開始）（2日目の昼食はご用意いたします）

講 師： 清水 亨 氏（株式会社 e b s エグゼクティブフェロー・

一般社団法人 日本ITイノベーション研究所 副理事長）

会 場： 第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料：・研究会会員価格 53,900円（本体価格49,000円）

・後援協会会員価格 57,200円（本体価格52,000円）

・一般価格 60,500円（本体価格55,000円）

定 員： 30名（最少開催人員10名）

※講師のご紹介

清水 亨 氏（株式会社 e b s エグゼクティブフェロー・日本ITイノベーション研究所 副理事長）

信用金庫システム部門等を経て、2002年3月東京スター銀行入行。システム開発部門、システム企画部門において、融資審査システム等、多数の融資周辺システム導入に携わる。2012年勘定系システム更改プロジェクトを立ち上げ、共通業務、融資業務、情報系システムの責任者として、2015年5月富士通製メインフレーム勘定系システムとオープン系第二勘定系システムをNEC製のBankingWeb21へ統合、稼働させる。また、M&A案件におけるITデューデリジェンスを消費者金融会社や信販会社など複数行う。2019年8月株式会社e b sへ入社、日本ITイノベーション研究所副理事長にも就く。

「融資システムの概要と最新のシステム動向」

カリキュラム

<p>1日目 3月4日(木) 13:30~16:30 (13:00 受付開始)</p>	<p>2日目 3月5日(金) 10:00~16:00 (9:30 受付開始)</p>
<p>I. 融資ビジネス・システムの最新動向</p> <ol style="list-style-type: none"> 商品・サービスの動向 オンプレミスからクラウドへ、AIの活用 <p>II. 勘定系および融資システムの概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 銀行システムの全体像 勘定系システムの機能概要 融資共通 証書貸付 手形貸付 割引手形 代理貸付 支払承諾 カードローン <p>III. 融資周辺システム</p> <ol style="list-style-type: none"> 個人ローン審査システム 融資支援システム 不動産担保評価・管理システム 財務情報管理システム 内部格付制度 格付・自己査定システム 延滞管理システム ALM(資産・負債総合管理) <p>IV. コーポレートファイナンスビジネス</p> <ol style="list-style-type: none"> 業務プロセスと関連システム 一般事業資金融資・事業性評価融資 協会融資(マル保) ビジネスローン(無担保・無保証) 売掛金債権担保融資(ABL) 金利デリバ内包型上限金利付ローン シンジケート3ローン コミットメントライン契約 不動産ノンリコースローン 	<p>10. DIPファイナンス、外貨融資など</p> <p>V. 住宅ローン証券化</p> <ol style="list-style-type: none"> ローン・パーティシペーション・債権譲渡 債権流動化のメリット 証券化の定義 証券化プロセス 倒産隔離 買い手金融機関による属性分析 買い手・売り手金融機関のシステム対応 <p>VI. オンラインレンディング</p> <ol style="list-style-type: none"> オンラインレンディングと従来融資 オンラインレンディングの現状 オンラインレンディングを実現するためのシステム構築 課題と今後の展望 <p>VII. 融資および勘定系システムの今後</p> <ol style="list-style-type: none"> 勘定系システムの課題とシステム共同化の現状と課題 メインフレームとオープン系システム オンプレミスからクラウドへ、その背景 デジタルライゼーションへの取り組み、APIの活用 勘定系システムの更改・改修の今後のあり方 今後に向けてのシステム構築コンセプト <p>※2日目の昼食はこちらで用意いたします。</p>

35

第118回 銀行業務研修・基礎コース

第11回 融資システムコース「融資システムの概要と最新動向」

ホームページ用受講申込書（2021年3月4日～5日開講 1.5日間）

貴社名

所在地 〒

TEL

FAX

Eメール

受付番号	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

☆一週間経過しても届かない場合はご連絡ください。

受講料 A：研究会会員価格 53,900円（本体価格49,000円）

B：後援団体会員価格 57,200円（本体価格52,000円）

C：一般価格 60,500円（本体価格55,000円）

お問い合わせは、

株式会社 日本金融通信社

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

e-mail k-info@nikkin.co.jp

注：振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042（名義）株式会社 日本金融通信社

振込予定日（できるだけご記入ください） 月 日

受講についてのお願い

①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。

②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。

③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁（枝番数字）を付記してください。

振込手数料は貴機関でご負担をお願いします。

④開催日、6日以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。

⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。

⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。

⑦オンライン受講の場合は、一人が1IDとなります。